

「第25回臨床消化器病研究会」開催のお知らせ

肝胆膵の部 症例募集のお知らせ

肝胆膵の部

[3セッション]

■ 8:50～10:40

主題1 肝:「肝血管腫・肝類上皮血管内皮腫・肝血管肉腫」

公募演題

司会: 南 康範先生(近畿大学医学部 消化器内科)

佐野 圭二先生(帝京大学医学部 外科学講座)

病理コメンテーター: 草野 弘宣先生(久留米大学病院 病理診断科・病理部)

画像コメンテーター: 小坂 一斗先生(金沢大学附属病院 放射線科)

基調講演: 塚原 嘉典先生(信州大学医学部 画像医学教室)

■ 10:50～12:40

主題2 胆:「膵・胆管合流異常と胆道病変」

公募演題

司会: 菅野 敦先生(自治医科大学 消化器・肝臓内科)

波多野 悦朗先生(京都大学大学院医学系研究科 肝胆膵・移植外科学)

病理コメンテーター: 相島 慎一先生(九州大学大学院 構造病態病理学分野)

画像コメンテーター: 吉満 研吾先生(福岡大学医学部 放射線医学教室)

基調講演: 大塚 将之先生(千葉大学大学院医学研究院 臓器制御外科学)

■ 13:55～15:45

主題3 膵:「次世代に伝えたい貴重な症例」

公募演題

司会: 潟沼 朗生先生(札幌医科大学医学部 消化器内科学講座)

大塚 隆生先生(鹿児島大学医学部 消化器・乳腺甲状腺外科)

病理コメンテーター: 福嶋 敬宜先生(自治医科大学附属病院 病理診断科)

画像コメンテーター: 山下 竜也先生(松任石川中央病院 消化器内科)

基調講演: 真口 宏介先生(手稲溪仁会病院 教育研究センター顧問／
亀田総合病院 消化器内科顧問)

消化管の部

[4セッション]

■ 8:50～10:20

主題1 「IBD」テーマ:症例から学ぶ炎症性腸疾患Final Season

指定演題

司会: 平井 郁仁先生(福岡大学医学部 消化器内科学講座)

猿田 雅之先生(東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科)

病理コメンテーター: 二村 聡先生(福岡大学筑紫病院 病理部・病理診断科)

■ 10:30～12:00

主題2 「上部消化管」テーマ:胃の神経内分泌腫瘍

(Neuroendocrine neoplasm, NEN)の理解と診断

公募演題

司会: 長浜 隆司先生(新東京病院 消化器内科)

上堂 文也先生(大阪国際がんセンター 消化管内科)

病理コメンテーター: 八尾 隆史先生(順天堂大学大学院医学研究科 人体病理病態学)

■ 12:10～13:00

主題3 「機能」テーマ:消化管機能障害に対する最新の内視鏡診断と治療

指定演題

司会: 中島 淳先生(国際医療福祉大学 消化器内科統括教授／熱海病院 病院長)

眞部 紀明先生(川崎医科大学 検査診断学(内視鏡・超音波))

①講演: 栗林 志行先生(群馬大学大学院医学系研究科 消化器・肝臓内科)

②講演: 塩飽 洋生先生(福岡大学病院 消化器外科)

■ 14:15～15:45

主題4 「下部消化管」

指定演題

司会: 山野 泰穂先生(札幌医科大学医学部 消化器内科学講座)

大宮 直木先生(藤田医科大学 先端光学診療学講座)

病理コメンテーター: 九嶋 亮治先生(滋賀医科大学 病理学講座)

2025年8月9日(土) 8:45～15:55(予定)

虎ノ門ヒルズフォーラム 4F, 5F

4Fホール「肝胆膵の部」、5Fホール「消化管の部」

〒105-6305 東京都港区虎ノ門1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー

参加資格

オープン

参加費

1,000円

ハイブリッド方式で開催

※本研究会はハイブリッド方式での開催となります。Webでのライブ配信又は現地会場にてご参加いただけます。
(開催後のオンデマンド配信は予定していません。)

共催: 臨床消化器病研究会 〈事務局〉EAファーマ株式会社 製品戦略部 担当: 道宗／古屋

臨床消化器病研究会HP <http://netconf.eisai.co.jp/rinsho-shokaki/>

●症例のお申し込みはHPからお願い致します。

第25回臨床消化器病研究会

「肝胆膵の部・演題募集」について

肝胆膵の部では、各主題で検討する症例を公募いたします。

肝胆膵の部 主題症例募集

「主題のねらい」に即した症例があれば、「症例申込表」・「画像・病理データ」をCDに保存の上、事務局宛にお送りください。

※「症例申込表」は、臨床消化器病研究会ホームページ(<http://netconf.eisai.co.jp/rinsho-shokaki/>)より入手できます。

締め切り：2025年6月30日(月)“必着”

送付先：臨床消化器病研究会 事務局

EAファーマ株式会社 製品戦略部

(内サンプラネット 古屋) 宛

〒104-0042 東京都中央区入船2丁目1番1号9階

TEL:080-9279-4610

e-mail:hiroshi_furuya01@eapharma.co.jp

※本研究会では、各セッションの様様をDVDに収録し、研究会終了後に希望者に貸出します。応募にあたっては、予めご承知おきください。

注意事項

1)「抄録」

※「臨床消化器病研究会 症例申込表」を使用し、以下の項目を必ずご記入願います。

- 応募する「領域」「主題」
- 演題名、所属、氏名
- 症例の要旨(400文字以内)
- 症例申込表とともに送りいただく資料の種類、枚数(資料別)

2)「画像・病理データ」

※パワーポイントで作成し、以下の画像・病理データをご提出願います。

- 画像所見(X線所見、内視鏡所見など)
- 切除標本所見(マクロ)
- 病理組織所見(ミクロ)
- その他、症例検討に必要な資料

※病理標本現物(プレパラート)は、送付しないでください。

3)「症例申込表」、「画像・病理データ」は、CDに保存の上、ご提出願います。

主題 1

公募演題

肝:「肝血管腫・肝類上皮血管内皮腫・肝血管肉腫」

司 会: 南 康範先生(近畿大学医学部 消化器内科)

佐野 圭二先生(帝京大学医学部 外科学講座)

病理コメンテーター: 草野 弘宣先生(久留米大学病院 病理診断科・病理部)

画像コメンテーター: 小坂 一斗先生(金沢大学附属病院 放射線科)

基調講演: 塚原 嘉典先生(信州大学医学部 画像医学教室)

肝血管腫、肝類上皮血管内皮腫(EHE)、肝血管肉腫はいずれも血管性増殖性病変であり、肝に発生する腫瘍性病変の中でも画像診断上、特異な課題を有する。肝血管腫は頻度の高い良性腫瘍である。大部分は海綿状血管腫であり、CT/MRIのダイナミックスタディ、超音波所見、MRI信号で診断は容易である。しかし、退行変性、線維化、出血を伴うことにより非典型像を呈する例では、悪性腫瘍との鑑別が困難となり、不必要な外科的切除が行われることもある。EHEは、血管内皮由来の稀少腫瘍であり、低～中間悪性度で分類される。肝末梢に多発し癒合傾向を示す典型例では診断が比較的容易であるが、孤発性や肝門部に限局する病変では、画像診断に難渋する。肝血管肉腫は極めて悪性度が高く、画像所見も多発結節型、腫瘤型、びまん型と多彩である。造影効果やMRI信号も不均一であり、画像診断のみでの確定は困難を極める。本セッションでは、これらの血管由来腫瘍性病変における診断困難例や稀少腫瘍の症例、あるいは特異な経過をたどった症例を提示し、それぞれの画像的特徴、病理診断上の課題、治療戦略への影響を多角的に検討する。基調講演および症例検討を通じて、鑑別のヒントとなる画像所見を整理し、日常診療に応用可能な知見の共有を目的とする。

主題 2

公募演題

胆:「膵・胆管合流異常と胆道病変」

司 会: 菅野 敦先生(自治医科大学 消化器・肝臓内科)

波多野 悦朗先生(京都大学大学院医学系研究科 肝胆膵・移植外科学)

病理コメンテーター: 相島 慎一先生(九州大学大学院 構造病態病理学分野)

画像コメンテーター: 吉満 研吾先生(福岡大学医学部 放射線医学教室)

基調講演: 大塚 将之先生(千葉大学大学院医学研究院 臓器制御外科学)

膵・胆管合流異常は、胆管と膵管が十二指腸壁外で合流する先天性形成異常である。膵・胆管合流異常は、胆道癌の発生率が高く、胆道癌の危険因子としても知られている。その原因の一つとして、膵液の胆管への逆流による胆道粘膜の慢性的な炎症の持続と考えられている。膵・胆管合流異常に合併する胆道癌の病理組織学的特徴として、肉腫様胆嚢癌や混合型神経内分泌癌などの特殊亜型が多く、遺伝子変異も多いとされるが明らかではない。また、胆管拡張のない膵・胆管合流異常症例は、胆管癌の頻度が低いことから、予防的な胆嚢摘出術のみを行うことも多いが、遺残胆管への発癌頻度や発生した腫瘍の特徴など不明な点も多い。今回、膵・胆管合流異常に合併した胆道病変の症例を募集する。様々な症例を集積することにより、膵・胆管合流異常と胆道癌の理解を深め、明日からの日常診療に役立てたい。多数の応募を期待する。

主題 3

公募演題

膵:「次世代に伝えたい貴重な症例」

司 会: 湯沼 朗生先生(札幌医科大学医学部 消化器内科学講座)

大塚 隆生先生(鹿児島大学医学部 消化器・乳腺甲状腺外科)

病理コメンテーター: 福嶋 敬宜先生(自治医科大学附属病院 病理診断科)

画像コメンテーター: 山下 竜也先生(松任石川中央病院 消化器内科)

基調講演: 真口 宏介先生(手稲溪仁会病院 教育研究センター顧問/亀田総合病院 消化器内科顧問)

臨床消化器病研究会もこの第25回の『膵』のセッションで最後を迎える。これまでのセッションではIPMNや膵がん、MCN、小膵癌、など幅広く疾患を取り上げてきた。これにより、典型例から非典型例まで広範かつ多岐にわたる知識が得られ、本研究会が参加者にとって有用かつ有益であったことは疑いの余地がありません。さらに、この研究会の大きな目的の一つである若手の教育にも多大なる貢献をしてきたと思います。研究会の最後のセッション『膵』では、若い世代に伝えたい貴重で教育的な症例を広く募集します。テーマは「次世代に伝えたい貴重な症例:膵」です。実際のセッションでは、若手医師を数名ディスカッサントとして指名し、若手の意見や疑問を広く受け付け、議論を盛り上げていくことを考えています。これにより、これまで25回行ってきた臨床消化器病研究会の目的や重要性、マインドを次世代の若手医師に受け継ぐ機会としたいと思います。次世代にどうしても伝えたい多くの演題応募を期待しています

●虎ノ門ヒルズフォーラムへ徒歩でのアクセス



【所在地】東京都港区虎ノ門1-23-3 虎ノ門ヒルズ 森タワー 5階

【交通機関からのアクセス】

- 東京メトロ 日比谷線「虎ノ門ヒルズ駅」①B1出口 ②A1b出口
- 東京メトロ 銀座線「虎ノ門駅」①B1出口 ②B4出口(2階デッキ経由)
- 東京メトロ 千代田線/丸の内線「霞ヶ関駅」A12出口 徒歩約8分
- 都営地下鉄 三田線「内幸町駅」A3出口 徒歩約8分
- 銀座線/浅草線/ゆりかもめ/山手線/京浜東北線/東海道線/横須賀線「新橋駅」烏森口出口 徒歩約11分

消化器疾患の患者さまの笑顔。

そんな、いい絵を描きたい。

消化器疾患で苦しむ人たちの
幸せに生きたい。自分らしくありたい。
その思いにしっかり応える私たちでありたい。
EAファーマは、
そんな未来の実現に向けて進んでいきます。



EAファーマ

EAファーマは、消化器のスペシャリティ・ファーマです。

EAファーマは、エーザイグループの消化器事業と
味の素グループの消化器事業を統合・設立した製薬会社です。

EAファーマ株式会社
東京都中央区入船二丁目1番1号

<http://www.eapharma.co.jp/>



Eisai Eisai Group